

第8回蒲郡市産業振興会議 会議録

開催日時	令和6年5月22日（水）午前10時00分～正午	
開催場所	蒲郡市役所本館3階303	
出席者	【蒲郡市産業振興会議委員】（敬称略）	
	蒲郡商工会議所	会頭 小澤素生 （株式会社ニデック 代表取締役社長）
	蒲郡市漁業振興協議会	会長 小林俊雄 （三谷漁業協同組合 代表理事組合長）
	蒲郡鉄工会	会長 近藤昌泰 （株式会社近藤鐵工所 代表取締役会長）
	蒲郡金融協会	代表 河合博 （蒲郡信用金庫 専務理事）
	株式会社金トビ志賀	代表取締役 志賀重介
	株式会社ミスコンシャス	代表取締役社長 小山絵実
	愛知大学	地域政策学部教授 戸田敏行
	愛知工科大学	工学部機械システム工学科教授 渡部吉規
	蒲郡市	産業振興部部長 池田高啓
	【欠席者】	
	蒲郡市観光協会	会長 杉山和弘 （株式会社明山荘 代表取締役社長）
	蒲郡市農業協同組合	代表理事組合長 鈴木茂正 （蒲郡市農業協同組合 代表理事組合長）
	小池商事株式会社	代表取締役社長 小池高弘
	稲葉製綱株式会社	取締役専務 稲葉千穂子
	豊橋技術科学大学	大学院工学研究科機械工学系教授 高山弘太郎
	【説明者】	
	蒲郡商工会議所	中小企業相談所長 松岡祐志
	【事務局】	
	蒲郡市	産業振興部産業推進監兼農林水産課長 永島勝彦
	蒲郡市	産業振興部観光まちづくり課長 鈴木直美
	蒲郡市	産業振興部産業政策課長 竹村太郎
	蒲郡市	産業振興部産業政策課長補佐 黒田俊介
	蒲郡市	産業振興部産業政策課産業立地推進室長 坂口敏行
	他4名	
	第7回蒲郡市産業振興会議録の保存	

議題	(1) K P I の報告について（資料 1） (2) 令和 6 年度の主要・新規事業について（資料 2） (3) 令和 6 年度全体スケジュール（予定）について（資料 3 及び資料 4） (4) 委員所属団体の取組み事例について ア 蒲郡金融協会（資料 5） イ 蒲郡商工会議所（資料 6）
会議資料	・議事次第 ・資料 1 K P I 進捗状況一覧 ・資料 2 令和 6 年度の主要・新規事業 ・資料 3 令和 6 年度全体スケジュール（予定） ・資料 4 蒲郡市産業振興プロジェクト（ビジョン抜粋） ・資料 5 「地域密着型金融推進計画」に係る令和 5 年度の活動について ・資料 6 「蒲郡商工会議所」報告資料 ・蒲郡市産業振興会議委員名簿 ・座席表 ・意見提出用紙
会議内容	1 開会 ○ 会議の注意事項 ○ 配布資料説明 2 第 7 回蒲郡市産業振興会議録の保存 ○ 戸田会長による署名 3 議事 今回は、「K P I の報告について」、「令和 6 年度の主要・新規事業について」、「令和 6 年度全体スケジュール（予定）について」、「委員所属団体の取組み事例について」の 4 点の議題が挙げられています。それでは、「K P I の報告について」事務局から説明をお願いします。（会長） （1）K P I の報告について ・ 産業政策課から「経営基盤の強化」、「デジタルトランスフォーメーション（D X）の推進」、「産業人材の確保と育成」、「ダイバーシティ経営の推進」、「雇用創出の促進」、「産業競争力の強化」、「地域経済循環の促進」、「イノベーション創出の促進」、「創業・スタートアップの促進」、「グリーントランスフォーメーション（G X）の推進」、「観光と多様な産業の連携」、「オープンイノベーションの促進」、「サーキュラーシティ蒲郡の推進」について令和 5 年度の実績報告 ・ ありがとうございました。それでは、次の議題に進みます。議題 2 「令和 6 年度の主要・新規事業について」、事務局から説明をお願いします。（会長）

(2) 令和6年度の主要・新規事業について

- ・ 産業政策課から『蒲郡市がんばる中小企業者応援事業費補助金』、『繊維産業の継続的な発展に向けた取り組みの実施』、『オフィスを新設する企業の支援』について説明
- ・ 観光まちづくり課から『がまごおりベンチアートプロジェクト』、『堤防アート作成事業』、『蒲郡幸田ロケの街推進事業』、『がまごおりじなる大会記載事業』について説明
- ・ 農林水産課から『スマート牡蠣養殖の実証事業の支援』について説明
- ・ ありがとうございました。議題1、2について各委員から質問及びコメントをいただければと思います。(会長)
- ・ K P I の令和5年度末の評価が△や×のものを今後、どのように○の評価にしていくかを商工会議所としても検討する必要がある。また、市の方も○の評価に近づける施策を検討していただければと思う。それから基本戦略03の「サーキュラーエコノミーによる新商品・新サービス創出数」のところで、年間目標値3件に対し令和5年度末の実績が9件であり、目標値を大幅に上回っている。この目標値の見直しも検討した方が良い。(委員)
- ・ このK P I の進捗状況について、基本戦略01の「経営基盤の強化」、基本戦略02の「産業競争力の強化」のところに△の評価が多く、難しい課題であると感じる。それから、基本戦略02の「地域経済循環の促進」の観光客数が目標値との乖離が大きいと感じるが、何が要因となっているのか。(委員)
 - 市内に訪れた観光客数を集計した年が、令和5年1月から12月の集計数であり、コロナが5類へ移行したタイミングで半年以上が5類移行前の期間を含めていることが要因であると思う。しかし、コロナ明け以降も観光客数は戻りきっていないという直近の数字もあり、蒲郡市観光協会と一緒にどういった取り組みを進めていけるかを考えている。また、コロナを境に団体旅行から個人旅行へのシフトが進みつつある。その辺りも踏まえた戦略等を考えていく必要がある。(事務局)
- ・ 「D Xに関するセミナー・研修回数」が今年度は7回ということだが、これはどのような分野で実施されたのか。(委員)
 - 内容は「ネット集客&インスタグラム基礎セミナー」や「G o o g l eマップを活用して集客&売上アップセミナー」、「セミナーDX の現状と展望〜データと

	AIを活用した全体最適化～」や「サービス部会 DX セミナー」、「YouTube のビジネス活用術」、「セミナー 無料ではじめる健康経営に効くヘルスケアアプリ」、外部では蒲郡技術科学振興会の主催で開催させていただいた。(事務局) ・ 「スマート農業など推進支援策の導入」が 0 件ということであるが、本学では情報系のスマート経営を専門としている教員や農業機械専門の教員もいるため、ご相談いただくのが有効的だと考えている。また、基本戦略 0 2 の「主力農水産物などの売上高」についての内訳はどうなっているか。(委員) → 始めにスマート農業などの推進につきまして、令和 5 年度までは実証事業、実証試験を主に取り組んでいたが、まだ本格的な導入は 0 件である。具体的には、J A と蒲郡市の方で、ドローンを使った薬剤散布の実証実験に取り組んでおり、今年度から本格的な運用を始めるというような状況。スマート農業をこれから積極的に取り組んでいくため、スマート農業や農業機械の運用について等、指導していただけたらと思う。続いて、「主力農産物などの売上高」について、農作物はイチゴと温室ミカンと露地みかん、加工果樹類で合計金額、取扱高を出している。令和 4 年度が 3 9 億 5, 8 4 1 万 6, 0 0 0 円。令和 5 年度が 3 9 億 2, 8 2 6 万 3, 0 0 0 円で、やや減少傾向にある状況。水産業についてはメヒカリ、ニギス、アカザエビの年間の漁獲取扱高での計算で令和 4 年度が 2 億 1, 5 8 6 万 7, 5 0 0 円。令和 5 年度が 1 億 9, 7 2 6 万 9, 0 5 4 円で、こちらも減少している状況である。(事務局) ・ 基本戦略 0 3 の「産学官連携の協定締結数」が、4 件中、締結 2 件であるが、どこで締結されたのか。(委員) → 平成 2 6 年に愛知大学と地域包括連携に関する協定を結んだのが 1 件と、愛知工科大学と平成 2 3 年 4 月に同じく地域包括連携を結んだ 1 件の合計 2 件である。(事務局) ・ K P I の目標値を達成しているものに関して、基準値を超えてより高めていく上で、本当にこの K P I で合っているのかを確認しながら取り組むことが大事だと思う。その上で、現在の目標値を達成している項目については本当に令和 1 4 年度の目標に近づいているのかを確認しつつ、行っているという認識で良いか。また、市としては今回の結果をどのように捉えているか。(委員) → 今回の K P I は、結果だけ見ると、まずまずであると思う。意見の通り、目標値をもう少し最新のものに置き換えて、本当に K G I の目標値に近づいているかを見直していく必要があると思う。ただ今年に関しては、とりあえず設定して 1 年経過しただけということもあるため、数年、傾向を見て K P I 及び K G I の見直しを今後も進めていきたいと考えている。(事務局)
--	---

	- 基本戦略01の「先端設備導入計画認定数」が令和5年度末で目標値19件、実績23件とあるが、これはどのように数値を拾い上げているか。(委員) → 市で認定をする業務があり、その申請件数である。(事務局) - 産業政策課ではがんばる中小企業を応援という新規施策を挙げさせていただいた。IT導入支援の拡大、販路拡大、人材確保、BCP策定があり、企業の人手不足のところで人材を確保するのに経費がかかるため、その支援をすることを想定している。また、中小企業においては、BCP策定するのにも人材もおらず難しいということであれば、コンサルを入れて策定するということも想定した。また、上限10万で対象経費の2分の1というのは多いか少ないかという話もあるが、これから意見を聞きながら次年度以降改善していきたいと思う。(委員) - ありがとうございました。続きまして議題3に進みます。事務局の方から説明をお願いします。(会長) (3) 令和6年度全体スケジュール(予定)について - 産業政策課から令和6年度全体スケジュールについて資料3、4を用いて説明 - ありがとうございました。続いて議題4に進みます。「委員所属団体の取組み事例について」蒲郡金融協会、蒲郡商工会議所からそれぞれ説明していただき、その後、各委員から意見をいただきたいと思います。(会長) (4) 委員所属団体の取組み事例について - 蒲郡金融協会から「事業承継支援」、「M&A」、「ビジネスマッチングを始めとする本業・経営改善支援」、「海外ビジネス支援の推進」について報告 - 蒲郡商工会議所から「事業承継前後の家業改革」、「実績向上のカギを握るのは女性の活躍セミナー」、「創業スタートアップセミナー」、「がまごおり商業塾2024」について紹介 - それでは各委員からご意見あるいは先程の議題3の令和6年度の全体スケジュール、それから議題4の委員所属団体の取組み事例について、もし質問があれば出していいただければと思います。(会長) - スマート牡蠣養殖の実証事業を去年の11月から始めているが、今のところ順調である。今年は、去年の倍以上増やしてやっていくつもりであり、今年は夏を越せるのか、またボリュームが増えていくと、それに耐えるだけのえさがあるかを調査しながら、何とか事業化できるように努力していく所存である。(委員)
--	--

- ・ 各課、かなりたくさんのことに取り組んでいることが分かった。そして、令和6年度全体スケジュールを見ると、9月にアンケートの取りまとめ等、仕事量も多くなり実務が本当に進むか心配である。実務とのバランスを考えて進めていただくことが重要だと思う。(委員)
- ・ K P I の進捗状況について報告、説明する場合に市民等の聞いた人がミスリードしないような説明をして欲しいと思う。今のままでは、○や△、あるいは×に目が行ってしまう。基本戦略02でいえば、○とか◎が多く、良い印象を受けるかもしれない。しかし、K P I はK G I が最終目標であり、K P I は一つの指標や目安だとすると、その目標値に対して実績が達成しているからとはいえ、実態はどうかと考える必要がある。例えばD X のセミナーでいうと、セミナーの回数が多くてもそれがどれだけの効果を及ぼすのか、あるいはどのくらいの人に参加したのか、それによって影響度が変わってくると思う。そうした面も総合的に含めた評価のようなコメントを出される方が正確な判断ができると思う。そのような工夫を今後してほしい。(委員)
- ・ K P I の報告について、コメントがあればわかりやすいと思う。あとは、全体的に様々なことに取り組んでいることが分かったが、強弱がどこについているのかが分かりにくいというところがあったため、行政の中でここを注力するなど出していただくと、がまごおりの独自性や方向性がわかりやすいと思う。(委員)
- ・ 資料4のプロジェクト4にある蒲郡の産業創造プラットフォーム構築プロジェクトで、外部とのアライアンスなど個々の企業に繋がるような新しい先進事例を学ばせていただけるのなら非常に楽しみである。また、K G I の目標が令和14年ということで、10年経てば別世界になっているかもしれない。常に変化させて、チャレンジしていく行政と産業界でありたいと思う。(委員)
- ・ 資料3の市内事業者アンケートについて、産業振興施策の立案に反映していくためと記載されているが、どういった主旨で行われるかももう少し詳しく説明していただけないか。(委員)
 - アンケートについては、今の施策は本当に効果があるか等、様々な角度でアンケートを行う予定である。現在行っている市の政策の方向性が各業界、企業にとって本当にいいものかを含めて、その要望を聞く、課題だけを聞くということではなく、今の実情についても調査しようと考えている。(事務局)
- ・ この産業振興会議において、官民一体となり産業振興施策に取り組むことが必要だと感じている。今後についても各項目について、行政だけでは進めることはでき

ないので、皆様にもご協力いただきながら官民一体となり取り組んでいきたいと思う。(委員)

4 その他

第9回は9月頃であるが、その際に評価に関するアンケートも並行して行うため、次回またご意見をいただきたいと思う。